

令和4年度事業報告書

社会福祉法人 松野町社会福祉協議会

目次

社会福祉福祉事業

1 法人運営事業.....	- 1 -
2 地域福祉推進事業.....	- 4 -
2-1 地域福祉推進事業.....	- 4 -
2-2 福祉相談・援助活動の推進.....	- 7 -
2-3 共同募金運動等の推進.....	- 9 -
2-4 福祉団体事務.....	- 10 -
2-5 訪問型サービス事業.....	- 11 -
3 在宅福祉サービス事業.....	- 12 -
3-1 居宅介護支援事業.....	- 13 -
4 まごころ銀行運営事業.....	- 14 -

1 法人運営事業 (総事業費 19,642,571 円)

(1) 本会の支援基盤及び財政基盤を強化し健全な運営を図るため、会員の募集を行った。

会員募集結果	一般会員	1,056,000 円	(1,056 件)
	特別会員	51,000 円	(17 件)
	合計	1,107,000 円	

(2) 理事会、評議員会の開催

ア 理事会 (3 回)

第 1 回 令和 4 年 6 月 8 日 出席者 理事 9 名 監事 2 名

(報告) 評議員の選任結果について

会長の職務執行状況について

第 2 期松野町地域福祉活動計画の策定について

理事補欠候補者の推薦について

評議員補欠候補者の推薦について

令和 3 年度事業報告の承認について

令和 3 年度決算の承認について

令和 4 年度資金収支第 1 次補正予算 (案) について

評議員会の開催予定について

まごころ銀行助成金交付に係る審査について

その他

第 2 回 令和 5 年 3 月 8 日 出席者 理事 11 名 監事 2 名

(報告) 会長の職務執行状況について

評議員補欠選任候補者の推薦について

苦情解決第三者委員の選任について

令和 4 年度資金収支第 2 次補正予算 (案) について

まごころ銀行の現状と今後の運用について

令和 5 年度事業計画 (案) について

令和 5 年度資金収支予算 (案) について

役員等賠償補償保険の加入について

評議員会の開催予定について

その他 まごころ銀行公募事業の実施について

任期満了に伴う理事・監事の一斉改選について

第 3 回 令和 5 年 3 月 17 日 出席者 (書面審議) 理事 12 名

令和 4 年度資金収支第 3 次補正予算 (案) について

イ 評議員会 (2回)

第1回 令和4年6月27日 出席者 評議員 18名 欠席7名
(報告) 第2期松野町地域福祉活動計画の策定について
理事の補欠選任について
令和3年度事業報告の承認について
令和3年度決算の承認について
令和4年度第資金収支1次補正予算(案)の承認について
その他

第2回 令和5年3月27日 出席者 評議員 21名 欠席4名
(報告) 評議員の補欠選任結果について
令和4年度資金収支第2次補正予算(案)の承認について
令和4年度資金収支第3次補正予算(案)の承認について
令和5年度事業計画(案)の承認について
令和5年度資金収支予算(案)の承認について
その他 まごころ銀行公募事業について

(3) 評議員選任・解任委員会の開催 (2回)

評議員選任・解任委員会

第1回 令和4年6月22日 出席者 委員5名 会長、事務局2名
評議員の補欠選任について
その他

第2回 令和5年3月17日 出席者 委員5名 会長、事務局2名
評議員の補欠選任について
その他

(4) 監査の実施状況

令和4年5月18日 (令和3年度監査) 監事2名、会長、職員2名
令和4年5月31日 (監査講評) 監事2名、会長、副会長、職員2名
令和5年3月10日 令和4年度社会福祉法人指導監査
南予地方局3名 会長、職員2名、監事2名

(5) 労務管理・職員数の状況

区分	法人全体				単位:人
	正規職員	嘱託	臨時	パート	合計
令和4年4月1日	9	1	0	4	14
令和5年3月31日	9	1	0	5	15
増 減	0	0	0	1	1

法人運営・地域福祉推進事業

単位:人

区分	正規職員	嘱託	臨時	パート	合計
令和4年4月1日	5	0	0	4	9
令和5年3月31日	5	0	0	5	10
増減	0	0	0	1	1

在宅福祉サービス事業

単位:人

区分	正規職員	嘱託	臨時	パート	合計
令和4年4月1日	4	1	0	0	5
令和5年3月31日	4	1	0	0	5
増減	0	0	0	0	0

(6) 社協内部門間、近隣社協との連携強化

ア 幹部職員会：12回

イ 職員研修会：職員階層別 WEB 研修

メンタルヘルス、ハラスメント、クレーム対応 等

ウ 3町（鬼北、愛南、松野）社協意見交換会：中止（感染症予防）

エ 3社協連携研修（砥部、愛南、松野）：4回

(7) 各種大会の開催

ア 松野町敬老式の開催

本年度の松野町及び松野町中央公民館との三者共催による松野町敬老式は新型コロナウイルス感染症の影響により式典は中止とし、長寿の祝い歳の方々に、記念品を贈呈した。

記念品等費用：630,828 円

主な内容

- ・U-CAT を活用したお祝い：町長のお祝いのメッセージ

虹の森保育園によるアトラクション

坊ちゃん劇場によるミュージカル

- ・記念品の贈呈（対象者 221 名）

祝い歳該当者内訳

祝い歳	生まれ年	合計
喜寿(数え77歳)	昭和21年生まれ	57
傘寿(数え80歳)	昭和18年生まれ	60
米寿(数え88歳)	昭和10年生まれ	50
卒寿(数え90歳)	昭和8年生まれ	43
白寿(数え99歳)	大正13年生れ	6
百賀(数え100歳)	大正12年生れ	5
合計		221

イ 福祉のつどいの開催

福祉ボランティアグループ、マツノイズムと協働で、音楽と交流をテーマに開催し、マリンバ奏者による演奏会、高校生によるスマホ講座、ボランティアの楽器作りやゲームコーナーにより、多世代交流の場を提供した。

コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催となった。

参加者 約55人

令和4年11月13日開催

ウ 松野町戦没者追悼式の実施

コロナウイルス感染症の影響のため、関係機関と協議の上、中止を決定し、延野々地区主催による戦没者追悼行事に参加した。

参加者 約20名（松野町遺族会4名）

令和5年3月21日開催 費用：9,244円（献花代等）

エ 少年の日を祝う会への助成

松野中学校と相談し、中学2年生を対象の少年の日を祝う会にて、記念品等を贈り、その開催を支援した。

助成費用 53,920円（記念品代）

2 地域福祉推進事業（総事業費21,667,199円）

2-1 地域福祉推進事業

(1) 第2期松野町地域福祉活動計画の推進

第2期計画スタートの年であり、各地区で推進委員会を開催し、活動計画の共有と、住民への周知方法について検討した。

また、令和4年度の地区活動の振り返りとして、10地区を2グループに分けて推進委員会を開催し、つながりづくりや取り組みたい活動、課題について協議した。推進委員会には、中学校生徒会も参加し、まちおこプロジェクトについての目的や報告、地域の人とやってみたい活動について意見交換をした。

地区福祉活動計画推進委員会の開催 2回/各地区、（全体会、個別）

事業費 地域福祉活動計画推進助成金15,000円×10地区=150,000円

(2) ボランティア活動の推進

・松野町福祉ボランティアグループや日赤奉仕団と協働して、福祉のつどいの開催、通学路の清掃活動、子育て世帯への支援活動、広報誌の音訳、読み聞かせ等のボランティア活動を支援した。

・ボランティア活動の場を広げるため、戸別訪問等による困りごとを解決するためにボランティアと相談し、活動へとつなげた。

・活動の幅が広がるよう、ボランティアとの意見交換を行った。

・ボランティア活動の質の向上のため、講習会等の情報提供を行った。

・ボランティア活動保険への加入

誰もが安心してボランティア活動に参加できるよう、社協を拠点とした福祉ボランティア活動者全員に対応できる保険に加入した。

加入者数 40名 14,000円（一人350円）

(3) ボランティアグループの支援

ア 福祉ボランティアグループの支援

- ・総会の開催 令和4年5月25日
- ・朗読ボランティア活動
- ・広報まつの等を年12回録音しテープを貸出した。利用者 1名
- ・読み聞かせの実施
(学童保育夏休み・春休み、西小毎月第1金曜日、東小毎月第1月曜日)
- ・折り紙ボランティア活動
町内の小中学校へ折り紙や壁面かざりを届けたり、虹の森まつの保育園にて折り紙教室を開催し、世代間交流を行った。活動回数 13回
- ・通学路清掃活動 西小校区2回
- ・福祉のつどいの共催
- ・松野中学校生徒会 まちおこプロジェクトへの参加
- ・生徒会企画による町内の清掃活動、健康づくりなどをテーマとしての活動を通し世代間交流に参加した。
- ・日赤倉庫視察研修会（日赤奉仕団と協働）

イ 日赤奉仕団の支援

- ・総会の開催 令和4年4月21日
- ・赤十字手つなぎボランティア 令和4年5月31日
内容 通学路清掃、ファミリーゲーム
青少年赤十字メンバー29名、教職員10名、奉仕団参加10名
- ・救急法講習会 令和4年6月7日
内容 応急手当の方法と水害を中心とした講話
講師 日本赤十字社愛媛県支部
奉仕団参加10名
- ・南予地域赤十字奉仕団リーダー養成研修会 令和4年10月4日
- ・福祉のつどいの共催
- ・赤十字ぬくもり子育て広場の開催 令和4年11月18日
内容 ベビーダンス,幼児安全法
講師 松山赤十字病院・日本赤十字社愛媛県支部
子育て支援グループ「つくしんぼ」親子及び奉仕団参加2名
- ・日赤倉庫視察研修会（福祉ボランティアグループと協働）
災害時の備えについて講話や体験活動をすることで防災・減災について意識を高めた。

(4) ふれあい郵便の実施

一人暮らしの高齢者並びに介護保険利用者へハガキを年 2 回郵送し、安否確認を行い、地域の見守り活動を推進した。

ふれあい郵便配達数	年賀状	408 名	
	調査	757 名	合計 1,165 名

(5) 生きがい活動支援通所事業の実施

在宅で生活する 65 歳以上の高齢者を対象に、班ごとに月 1 回程度の寄り合いを持ち、要介護状態への予防を図れるよう、自立的生活と生きがいや社会参加を促進できるよう、健康講座や趣味の創作活動を支援した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止・開催時間を短縮する対応をとったが、中止期間中は個別に電話で体調等の聞き取りや訪問を行い、脳トレや体操のプリントを郵送した。

スタッフ 職員 3 名

(正規職員 1 名、パート職員 2 名)

地区 5 班 (松丸 目黒、西の川 吉野 1、吉野 2)

利用者 49 名

参加費 1 回 100 円 事務費等

(6) ふれあい・いきいきサロンの拡充

地域で孤立する人をなくすため、高齢者や障害者、子育て中の親子などが、気軽に集い、地域の人々とのふれあいの場として、また情報交換の拠点として、楽しく参加しやすい活動を地域住民が運営できるよう支援し、心身の健康を保ち、生きがいづくりを推進した。新型コロナウイルス感染症の影響で集まって開催しづらかったが、参加者同士で安否確認をし合い、つながりを絶やさない活動を支援した。

グループ名	実施回数	参加者
萩の会 (延野々五郎丸)	10 回	10 名
脱線グループ (豊岡後)	12 回	7 名
なでしこ (豊岡前)	12 回	15 名
あじさい (富岡地吉)	15 回	10 名
ミナクル会(富岡古市場)	15 回	6 名
パワーズ (吉野)	43 回	10 名
コスモスの会 (蕨生)	10 回	14 名
にこにこ会 (蕨生谷口)	10 回	7 名
陽だまり会(蕨生奥内)	10 回	7 名
むくの会 (奥野川)	11 回	17 名

(7) 生活支援体制整備事業（町受託事業） 事業費：2,750,365 円

介護保険事業の地域支援事業における生活支援体制整備事業生活支援コーディネーター業務を、平成 28 年 8 月から松野町との契約により実施。

- ・生活支援サービス協議体 会議 1 回開催
- ・毎日体操「未来貯筋体操」周知のための活動
住民の健康づくり、地域の見守りネットワークづくりのため、理学療法士、地域おこし協力隊と連携し作った体操を、周知のための動画を作り、サロンや老人クラブ等の集まりで周知した。

(8) 福祉教育への取り組み

ふだんの暮らしをシェアするということという視点で福祉を身近に感じ、みんなと一緒に幸せに暮らしていくために必要なことや出来ることを考えるきっかけづくりとして、学校との協働で福祉教育に取り組んだ。

- ・福祉教育の実施 松野中学校 2 年生
富岡地区住民と竹ぼうき作りや地区散策を通じて、ふるさとの人や歴史、地区活動を知り、郷土愛を育み、自分ができることについて考えた。
- ・地域福祉活動計画推進委員会を通しての地域への福祉教育
推進委員会に中学生が参加してもらうことで、地域のことについて対話を通じて多世代で協議し、目指す地域像について考える機会とした。

2-2 福祉相談・援助活動の推進

(1) 心配ごと相談所事業の実施（町受託事業） 事業費：131,160 円

・相談員（民生児童委員 18 名）を中心に、毎月 1 回役場において心配ごと相談所を開設し、あらゆる悩みごとに対し気軽に相談に応じ、相談者の精神的な負担軽減できるよう、傾聴、助言、関係機関につなぐなど相談支援活動に努めた。

相談件数 1 件 [知人間トラブル]

・年 3 回弁護士による専門的立場からの指導並びに助言を仰いだ。

相談件数 3 件 [裁判への対応、金銭管理、裏山所有者とのトラブル]

(2) 福祉サービス利用援助事業の実施（県社協受託事業） 受託金：468,000 円

認知症や障害者など判断能力に不安、または不十分な方が、できる限り地域で安心して、自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用にあたり、本人との契約により下記の援助を行った。

- ・福祉サービスの利用契約における援助
- ・情報提供、相談、助言
- ・日常的な金銭管理、書類等預かりサービス
利用者 6 名 相談件数 930 件（620 件）
生活支援員 3 名
利用料 13,000 円（1 回 1 時間程度 単価 1,000 円 生活保護者は無料）

(3) 法人成年後見人の実施

法人後見受任者 なし

成年後見制度利用促進事業により、宇和島地域（1市3町）による権利擁護センター・自治体・社協と連携を図り、相談会の開催、課題の共有や協議を行った。

(4) 生活困窮者自立支援事業（県受託事業） 受託金：4,000,000円

家計改善支援事業（県受託事業） 受託金：2,100,000円

愛媛県からの受託により、「くらしの相談支援室」を開設し、生活困窮者が抱える多様で複合的な課題の解決に向け、総合的な相談を受け付け、関係機関との連携により、情報提供や必要な支援を行うと共に、プランの作成を行い、一体的、かつ計画的な支援に努めた。

また、家計の収支の均衡がとれていないなど、家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じる家計改善支援事業も併せて実施した。

- ・新規相談受付件数 11件（13件）
- ・プラン作成件数 2件（2件）
- ・支援調整会議の開催 1回（1回）

(5) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

（愛媛県社協の委託事業 受託費 571,610円、相談体制整備 598,200円）

低所得世帯等を対象とした貸付金制度である生活福祉資金において、民生児童委員の協力により相談受付及び貸付事務を行うとともに、償還事務を実施した。

新型コロナウイルス感染症の発生による休業や失業により、一時的又は継続的に収入が減少した世帯を対象として、特例貸付を行った。

資金別貸付状況表（令和4年度）					
	福祉資金 (緊急小口含む)	教育資金	コロナ特例	合計	備考
貸付件数	4件	0件	4件	8件（34件）	
貸付金額	236,000円	0円	1,150,000円	1,386,000円	

のべ相談件数 80件（86件）

(6) 小口資金貸付事業

緊急または不時の出費を要する場合に、生活困窮者の自立を支援するため、民生委員と連携して相談支援及び小口資金の貸付けを行った。

- ・令和4年度貸付件数 11件（12件）
- ・令和4年度末貸付高 327,000円
- ・預金額 173,000円
- ・原資 500,000円

2-3 共同募金運動等の推進

(1) 共同募金運動の推進

本年度募金目標額 721,000 円を設定、各部落区長、組長、民生児童委員協議会、各種団体と住民の皆様の理解と協力により、下記の実績をおさめることができた。

共同募金目標額	721,000 円
共同募金実績額	716,606 円
目標達成率	99.4%

(2) 共同募金配分金事業（3 年度募金による 4 年度配分事業充当）の実施

共同募金配分金事業 785,803 円

ア 一般募金配分金事業の実施 事業費：524,803 円

○ふれあい・いきいきサロンへの助成

サロン活動助成金 200,000 円（10 グループ）

○中学校卒業記念品の図書カードを通して学習支援（卒業生 22 名）

費用 48,000 円

○小学校入学記念品の学童傘贈呈による登下校の安全支援

（新入生 20 名） 費用 21,813 円

○町内の集会所に設置されている遊具を専門業者に依頼し一斉点検を行い、児童の健全育成の支援を行った。

点検箇所 10 箇所

（礁崎児童公園、向井公園、向井集会所公園、延野々集会所公園、隣保館公園、豊岡後集会所公園、豊岡前住宅集会所公園、梁瀬集会所公園、伊井公園、逆杖公園）

調査費 55,000 円

○ボランティア活動推進のため福祉ボランティアグループへの助成

補助金 38,000 円

○レクリエーショングッズを購入し、住民活動の活性化と健康づくりへの支援を行った。

費用 161,990 円

イ 歳末たすけあい運動の実施 事業費：261,000 円

令和 4 年度においても「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、歳末たすけあい運動を各部落区長・組長の支援を受けて実施した。この運動に対し、住民の皆様の温かい協力により、299,600 円の善意が寄せられ、全ての義援金を福祉施設入所者 23 名と、町内在住者 165 名へ贈った。

なお、町内在住者の義援金配布においては、地区担当民生委員の協力により、見守りを兼ねて実施した。

※事業費と募金額の差額 38,600 円は次年度一般募金配分金に充当予定。

(3) 日本赤十字社 活動資金募金

日赤県支部との目標額 547,800 円を設定、活動資金募金運動を展開した結果、住民の皆様の理解と各部落の区長、組長の協力により、下記の実績をおさめることができた。

活動資金募金目標額	547,800 円	
活動資金募金実績額	577,000 円	目標達成率 105.3%

2-4 福祉団体事務

(1) 松野町老人クラブ連合会への自立支援

松野町老人クラブ連合会の事務局として、理事会等の開催、会計処理等を行いその活動を支援した。

ア 会議開催の支援

・理事会	開催回数	2回
・総会	開催回数	1回

イ 各種大会等の引率

- ・県老人クラブ大会
- ・県老人クラブスポーツ大会
- ・ねんりんピック関連説明会

ウ 軽スポーツの普及支援

- ・クロッケー大会
- ・ペタンク大会

エ 単位老人クラブの活動支援

- ・総会の資料作成支援

(2) 松野町身体障害者福祉協議会への支援

松野町身体障害者福祉協議会の事務局として、役員会の開催、会計処理等を行いその活動を支援した。

ア 会議開催の支援

・役員会	開催回数	1回
・総会	書面による同意	

イ 各種大会等の引率

- ・県障害者福祉推進大会
- ・中四国身体障害者福祉大会 不参加
- ・県身障連市町団体代表者会議
- ・県障がい者スポーツ大会 コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

ウ 運営費の助成 26,400 円

(3) 松野町遺族会への自立支援

松野町遺族会の事務局として、役員会等の開催、会計処理等を行いその活動

を支援した。

ア 会議開催の支援

・役員会 開催回数 1回

イ 延野々地区戦没者追悼行事に参加

ウ 運営費の助成 26,400円

(4) 松野町母子寡婦福祉協議会への支援

運営費の助成 16,000円

2-5 訪問型サービス事業

(1) 訪問型サービス事業 事業費：3,610,000円

行政との協議により、松野町から受託で、令和3年8月より町内に在住する要支援1，2の方を対象として生活援助サービスを開始した。

利用者が、要介護状態となることの予防、要支援状態の軽減または悪化を防止し、住み慣れた自宅で自立した日常生活を営むため、松野町事業実施要綱に基づき、掃除や調理、ゴミ出しなどの軽微な家事援助など生活援助に限定したサービスを実施。

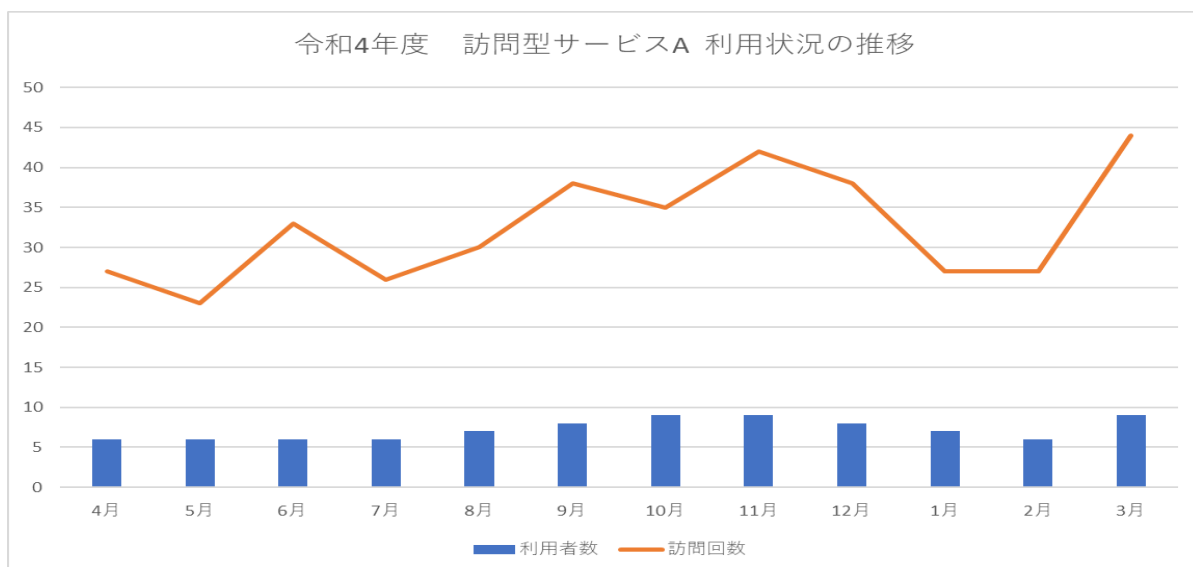
なお、身体介護が必要な利用者など、従来の訪問介護サービスを必要とする利用者については、ケアマネジャーのケアプランにより、事業所と利用者が契約の上、これまでどおり訪問介護サービスが利用できるよう調整をしている。

実施体制 管理者1名 サービス提供者2名

利用料2,000円/回（委託料1,800円+利用者負担金200円）

令和4年度利用状況の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	6	6	6	6	7	8	9	9	8	7	6	9	87
訪問回数	27	23	33	26	30	38	35	42	38	27	27	44	390



3 在宅福祉サービス事業（総事業費 20,761,342 円）

令和 3 年 6 月末に訪問介護・訪問入浴事業等が廃止となり、昨年度事業の精算処理を行い、今年度は純粹に居宅介護支援事業のみの実施となった。

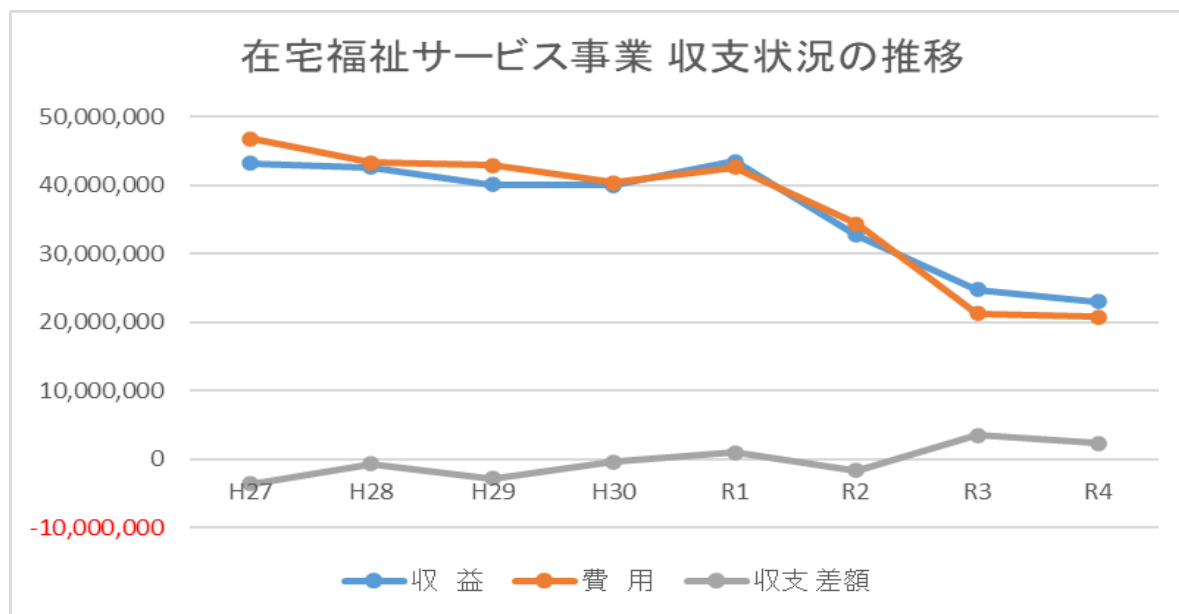
一人暮らしや身内に介護者する人がいない高齢者が増える中で、在宅サービスのみで日常生活を支えることが困難な高齢者が増加傾向にある。そのような状況の中で、施設や通所サービスなど多様なサービスが選ばれる一方で、在宅サービスを選ぶ利用者の減少傾向が続いている。

本町では人口減少と同時に高齢者の人口も減ってきており、在宅福祉サービスを対象としたケアプランを作成する居宅介護支援事業の収支は黒字ではあるものの、契約者の減に伴って収入も減少しており、収支面と職員の確保の両面で非常に厳しい経営状況が続いている。

当期活動増減差額 2,296,022 円 次期繰越活動増減差額 13,087,288 円

在宅福祉サービス事業収支状況の推移

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
収益	43,202,131	42,680,631	40,141,213	40,039,960	43,564,284	32,767,592	24,728,799	23,057,364
費用	46,829,505	43,322,522	42,930,733	40,425,539	42,647,967	34,395,712	21,262,615	20,761,342
収支差額	▲ 3,627,374	▲ 641,891	▲ 2,789,520	▲ 385,579	916,317	▲ 1,628,120	3,466,184	2,296,022



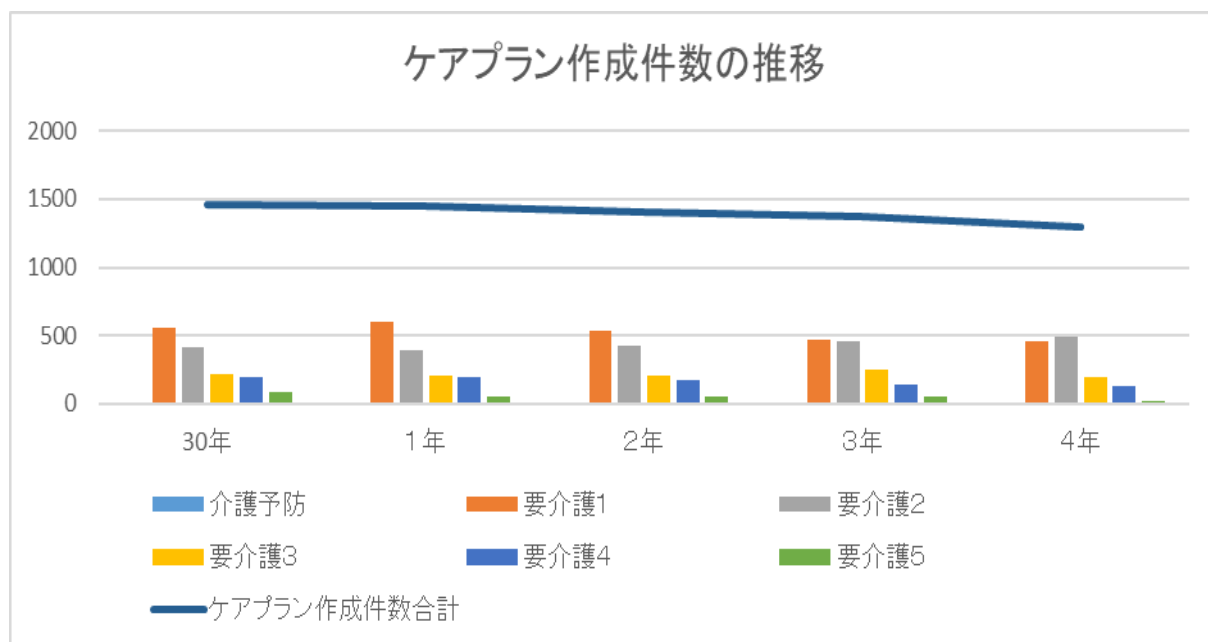
3-1 居宅介護支援事業

指定居宅介護支援事業所として、介護保険利用者の居宅介護支援計画の作成やサービス担当者会議の開催（円滑な支援のための事業者と利用者、介護者家族間の連絡調整）、及び訪問相談支援活動を行い、24時間連絡相談体制を整備するなど、利用者が健全で安らかな在宅生活を送れるよう、また、家族の介護負担の軽減を図れるよう努めた。

また、利用者世帯への相談助言活動を通じて、対象世帯の抱える課題を解決するため、地域、施設等をつなぐパイプ役として、地域包括支援センター、医師、理学療法士、保健師、民生委員、本会の地域福祉部門等との連携により、地域福祉の向上に努めた。

ケアプラン作成件数の年度推移

年度／認定区分	30年	1年	2年	3年	4年
介護予防	0	0	0	0	0
要介護1	558	597	534	471	461
要介護2	411	396	427	455	489
要介護3	219	203	212	250	197
要介護4	191	201	178	146	133
要介護5	82	54	55	53	18
ケアプラン作成件数合計	1,461	1,451	1,406	1,375	1,298



4 まごころ銀行運営事業（総事業費 742,000 円）

町民の方の善意の寄付金を受付管理し、その健全な運営管理に努めた。

今年度は、まごころ銀行助成金交付要領にもとづき、町内団体から申し込みのあった 2 事業に対し、理事会で審査し、助成金を交付することで住民活動の支援につなげた。また、寄付者の意向に沿い、本会の地域福祉活動や介護保険事業に活用させていただくと共に、次年度以降の活用方針を検討した。

令和 4 年度 寄付金	1,110,000 円 43 件
寄付金総額（前年度末総額）	25,715,135 円（25,356,719 円） （358,416 円増 対前年度比）

寄付申込書における使途希望状況

使途目的	金額	件数	割合(金額比)	割合(件数比)
地域福祉事業のために使ってください	280,000円	11	25%	26%
介護保険事業のために使ってください	130,000円	5	12%	12%
法人に一任します	690,000円	27	63%	63%
その他		0	0%	0%
計	1,100,000円	43	100%	100%

活用状況

- ・令和 4 年度 まごころ銀行助成金交付事業（公募） 申込件数 2 件
 - 団体名「歌う森のふくろう」 38,000 円
 - 「朗読ボランティア虹」 104,000 円
- ・本会での活用 600,000 円
 - 法人運営事業 78,000 円
 - 生活困窮者自立支援事業 322,000 円
 - 居宅介護支援事業 200,000 円